

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
国語	国語演習	3	2	・現代文グレートラーニング40 レベル2 (尚文出版) ・読解現代文必携 キーワードの卵 (尚文出版)

到達目標 ※	漢字・語句・国語常識を養うと同時に、現代のさまざまな文章を読み、自分で考える力を身に着ける。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	漢字・語句・国語常識についてまとめられたテキストに取り組み、小テストを通じて定着を図る。また、現代の文章(小説・随想・評論)をテキストに沿って自分で読み解き、自分で考える習慣を身に着ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	年度を通して、以下の ことを行う。	・問題集を通じて、小説・随想・評論等の様々な文章に触れる。	[平常] ・授業に取り組む真剣さの確認。	平常点について ・テキストから知識・理解は得られたか。
5月	・現代文の読解 (問題集を使用)	・自ら課題に取り組み、内容の理解を図る。	・テキストの内容についての質疑への対応を見る。	・文章の内容に沿った読解がなされているか。
6月	1 小説の読解	・記述においては、自分の考えをまとめ、的確に表現する。	・解答が正確で適切か見る。	・意見表明は出来ているか。
7月	2 随想の読解	・語彙力については、まずは自分で取り組み、わからないものは調べる活動を通して、知識の定着をはかる。	・文章に自らの考えが表現されているか見る。	・設定された文章に対して関心を持って接しているか。
8月	3 評論の読解	・漢字テスト、常識問題等のテスト等を行い、語彙力を涵養する。	・文章構成や用字・用語が適切か見る。	・文章力、語彙力をつけようという意欲はあるか。
9月	・語彙力の向上 (問題集を使用)		・漢字や言葉について小テストを実施する。	・授業を受ける態度はどうか。
10月	1 漢字の読み書き			
11月	2 特殊な語の読み			
12月	3 同音・同訓異義語			
1月	4 慣用表現		[定期考査] ・小説、随想、評論の読解。	・用字、用語は適切か。 ・小テストの点数。
2月	5 ことわざ		・文章の要約、自らの考えの論述。	等
3月	6 故事成語		・漢字や言葉の知識確認。	
	7 熟語			
	8 反対語・相対字			
	9 現代重要語			

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。